

「世界農業遺産」認定に係る認知度についてのアンケート結果

本県では、滋賀の風土と歴史の中で生み出されてきた「琵琶湖と共生する農林水産業」を世界に誇る「琵琶湖システム」として発信しており、令和4年7月に「世界農業遺産」として認定されました。

このたび、こうした滋賀ならではの農林水産業の営みや環境配慮の取組についてアンケートを実施しました。

★調査時期：令和6年12月

★対象者：県政モニター299人

★回答数：240人(回収率80.3%)

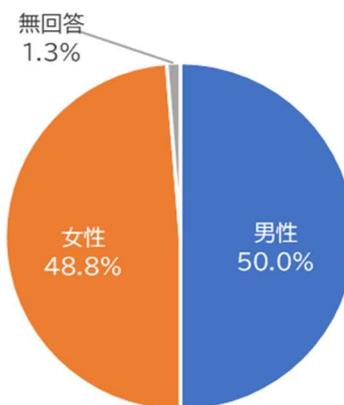
★担当課：農政水産部 農政課

※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

【属性】

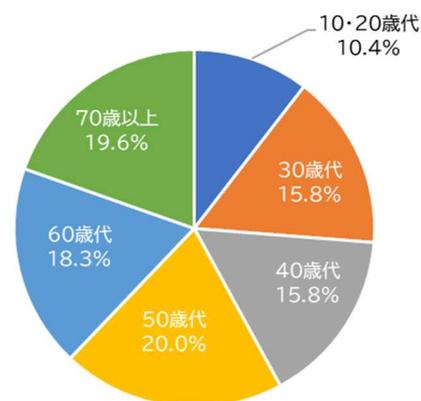
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	120	50.0%
女性	117	48.8%
無回答	3	1.3%
合計	240	100%



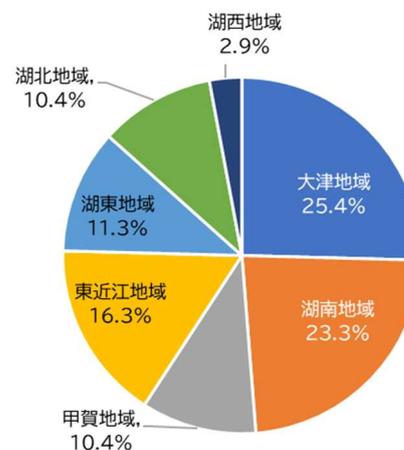
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	25	10.4%
30歳代	38	15.8%
40歳代	38	15.8%
50歳代	48	20.0%
60歳代	44	18.3%
70歳以上	47	19.6%
合計	240	100%



◆地域

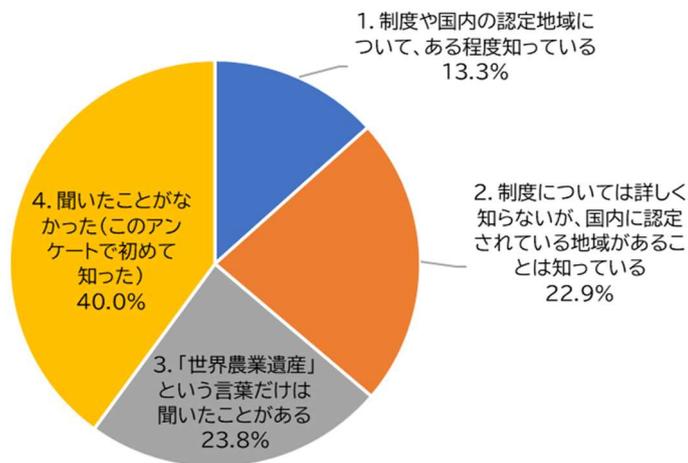
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	61	25.4%
湖南地域	56	23.3%
甲賀地域	25	10.4%
東近江地域	39	16.3%
湖東地域	27	11.3%
湖北地域	25	10.4%
湖西地域	7	2.9%
合計	240	100%



問1 「世界農業遺産」の制度や認定地域を知っていますか。

「世界農業遺産」は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり形作られてきた伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれてきた文化・景観・生物多様性を一体的なシステムとして国連食糧農業機関が認定する制度です。
(n=240)

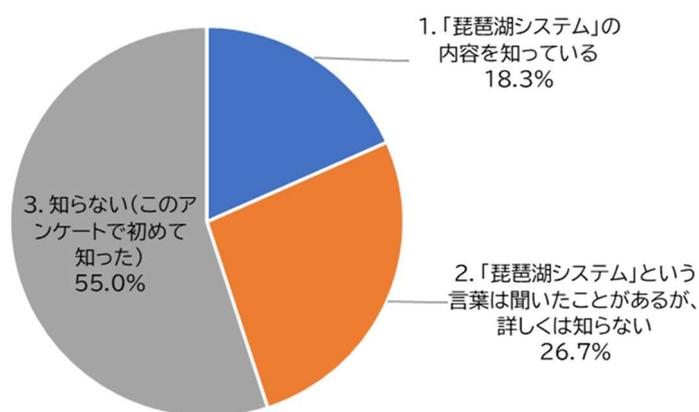
項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 制度や国内の認定地域について、ある程度知っている	32	13.3%
2. 制度については詳しくは知らないが、国内に認定されている地域があることは知っている	55	22.9%
3. 「世界農業遺産」という言葉だけは、聞いたことがある	57	23.8%
4. 聞いたことがなかった(このアンケートで初めて知った)	96	40.0%
合計	240	100%



問2 「琵琶湖システム」を知っていますか。

「エリ漁」などの伝統的な琵琶湖漁業や「ふなずし」などの食文化、「環境こだわり農業」や「魚のゆりかご水田」、水源林の保全活動を含む環境にやさしい農林水産業を「琵琶湖システム」と呼んでいます。
(n=240)

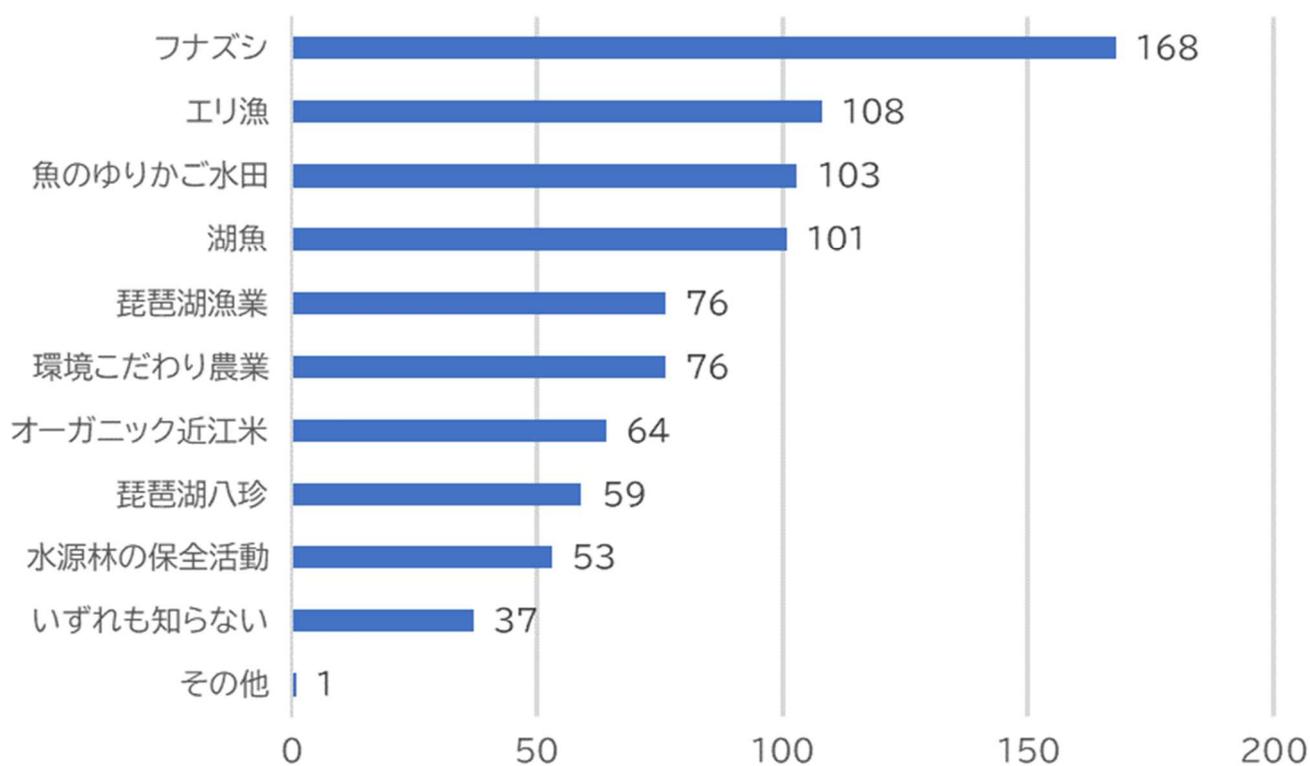
項目	人数 (人)	割合(%)
1. 「琵琶湖システム」の内容を知っている	44	18.3%
2. 「琵琶湖システム」という言葉は聞いたことがあるが、詳しくは知らない	64	26.7%
3. 知らない(このアンケートで初めて知った)	132	55.0%
合計	240	100.0%



問3 「琵琶湖システム」の中で知っているものを選んでください。

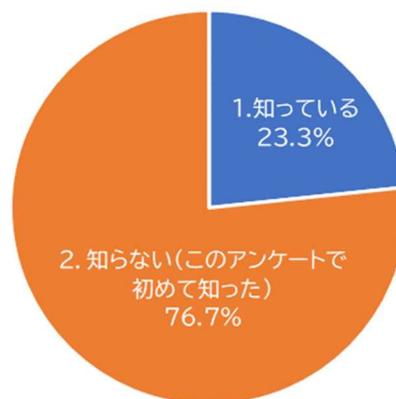
(「いずれも知らない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
フナズシ	168	70.0%
エリ漁	108	45.0%
魚のゆりかご水田	103	42.9%
湖魚	101	42.1%
琵琶湖漁業	76	31.7%
環境こだわり農業	76	31.7%
オーガニック近江米	64	26.7%
琵琶湖八珍	59	24.6%
水源林の保全活動	53	22.1%
いずれも知らない	37	15.4%
その他	1	0.4%



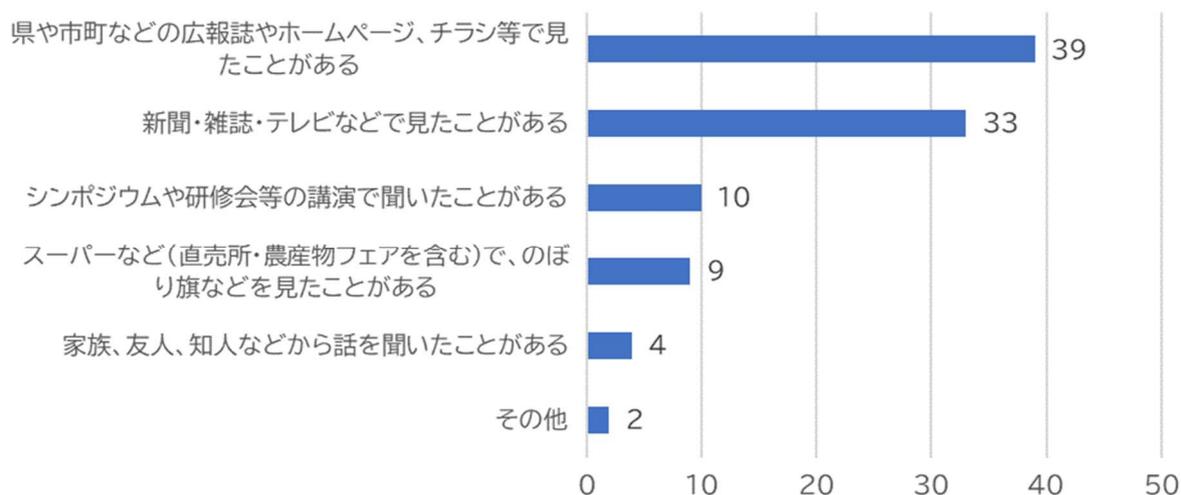
問 4 「琵琶湖システム」が世界農業遺産に認定されていることを知っていますか。令和4年7月に「琵琶湖システム」が「世界農業遺産」に認定されました。(n=240)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 知っている	56	23.3%
2. 知らない(このアンケートで初めて知った)	184	76.7%
合計	240	100%



問 5 問4で「1. 知っている」を選択した方におたずねします。「琵琶湖システム」の「世界農業遺産」認定を何で知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=56)

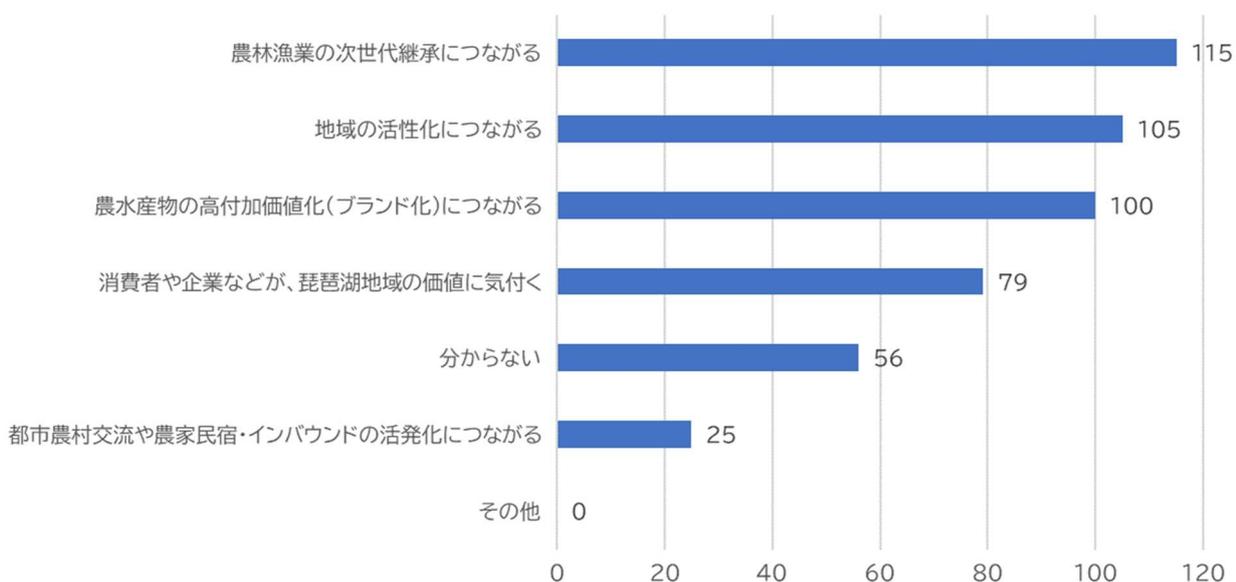
項目	人数(人)	割合(%)
県や市町などの広報誌やホームページ、チラシ等で見たことがある	39	69.6%
新聞・雑誌・テレビなどで見たことがある	33	58.9%
シンポジウムや研修会等の講演で聞いたことがある	10	17.9%
スーパーなど(直売所・農産物フェアを含む)で、のぼり旗などを見たことがある	9	16.1%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	4	7.1%
その他	2	3.6%



問 6 「世界農業遺産」認定にはどのような効果があると思いますか。

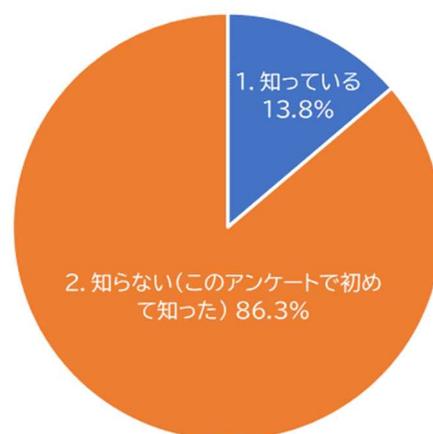
(「分からない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
農林漁業の次世代継承につながる	115	47.9%
地域の活性化につながる	105	43.8%
農水産物の高付加価値化(ブランド化)につながる	100	41.7%
消費者や企業などが、琵琶湖地域の価値に気付く	79	32.9%
分からない	56	23.3%
都市農村交流や農家民宿・インバウンドの活発化につながる	25	10.4%
その他	0	0%



問 7 「琵琶湖システム」のロゴマークを知っていますか。(n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	33	13.8%
2. 知らない(このアンケートで初めて知った)	207	86.3%
合計	240	100%

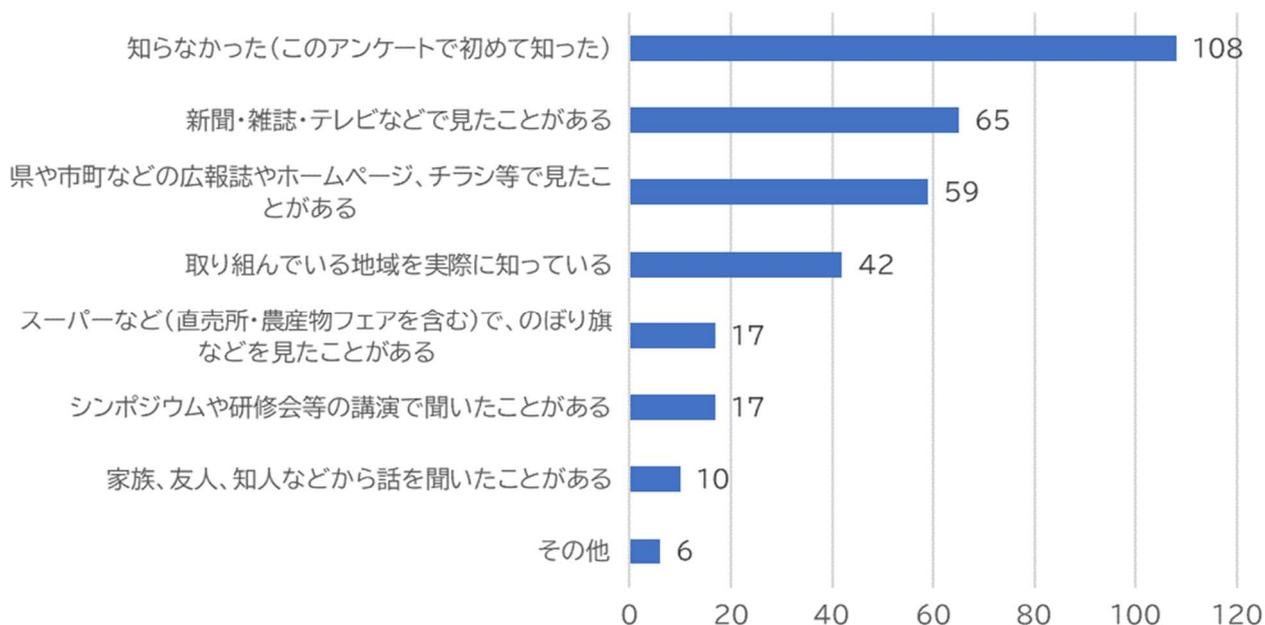


問 8 「魚のゆりかご水田」について知っていますか。

「魚のゆりかご水田」は、琵琶湖の魚が遡上・産卵・成育できる水田のことで、かつては琵琶湖周辺でごく普通に見られました。現在では、水路に魚道を設置して親魚の遡上を助け、水田で生まれた稚魚が琵琶湖に帰るまで大切に見守りながらお米を栽培されています。

(「知らなかった(このアンケートで初めて知った)」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	108	45.0%
新聞・雑誌・テレビなどで見たことがある	65	27.1%
県や市町などの広報誌やホームページ、チラシなどで見たことがある	59	24.6%
取り組んでいる地域を実際に知っている	42	17.5%
スーパーなど(直売所・農産物フェアを含む)で、のぼり旗などを見たことがある	17	7.1%
シンポジウムや研修会等の講演で聞いたことがある	17	7.1%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	10	4.2%
その他	6	2.5%

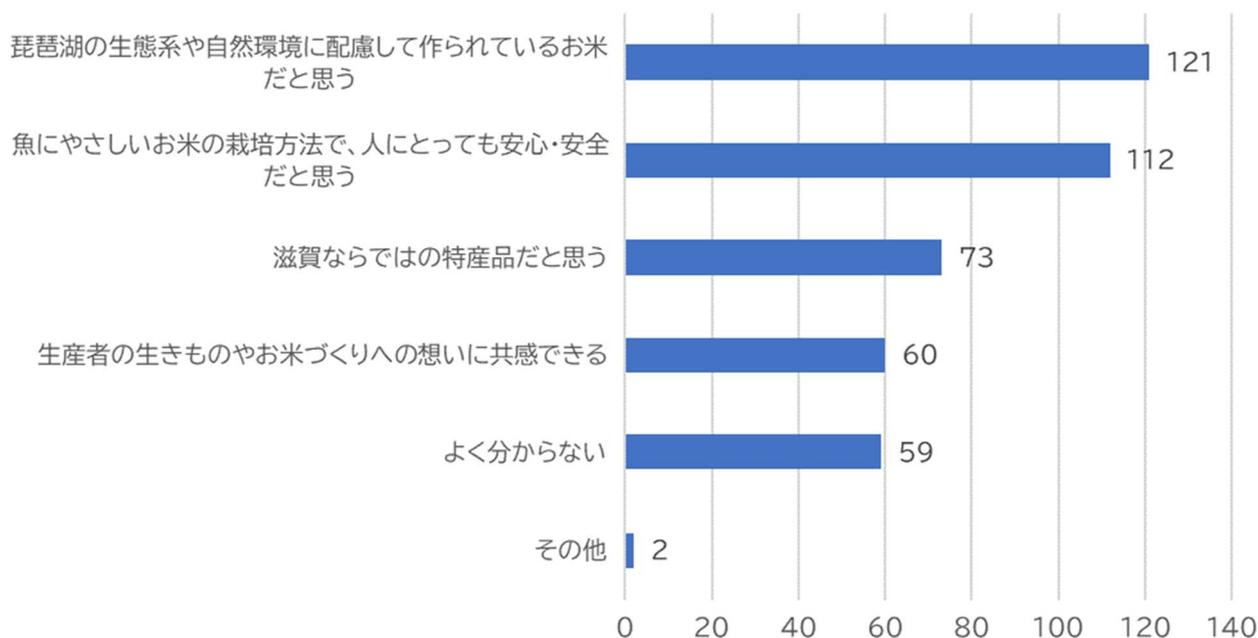


問9 「魚のゆりかご水田米」のイメージはどのようなものですか。

「魚のゆりかご水田」で収穫されたお米「魚のゆりかご水田米」は、農薬や化学肥料を減らす等手間ひまかけて栽培された、環境や生きものにもやさしいお米です。

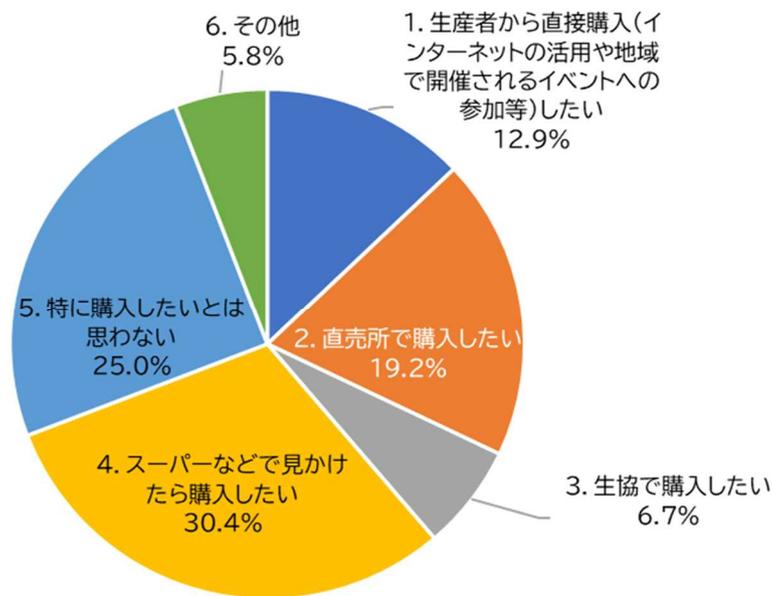
(「よく分からない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖の生態系や自然環境に配慮して作られているお米だと思う	121	50.4%
魚にやさしいお米の栽培方法で、人にとっても安心・安全だと思う	112	46.7%
滋賀ならではの特産品だと思う	73	30.4%
生産者の生きものやお米づくりへの想いに共感できる	60	25.0%
よく分からない	59	24.6%
その他	2	0.8%



問10 「魚のゆりかご水田米」の購入についてどう思いますか。(回答チェックは1つだけ n=240)

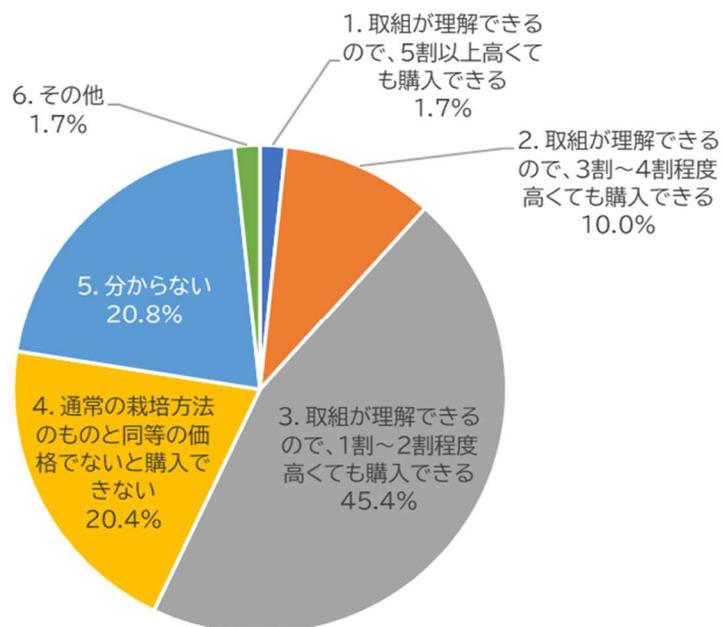
項目	人数(人)	割合(%)
1. 生産者から直接購入(インターネットの活用や地域で開催されるイベントへの参加等)したい	31	12.9%
2. 直売所で購入したい	46	19.2%
3. 生協で購入したい	16	6.7%
4. スーパーなどで見かけたら購入したい	73	30.4%
5. 特に購入したいとは思わない	60	25.0%
6. その他	14	5.8%
合計	240	100%



問11 「魚のゆりかご水田米」の価格についてどう思いますか。

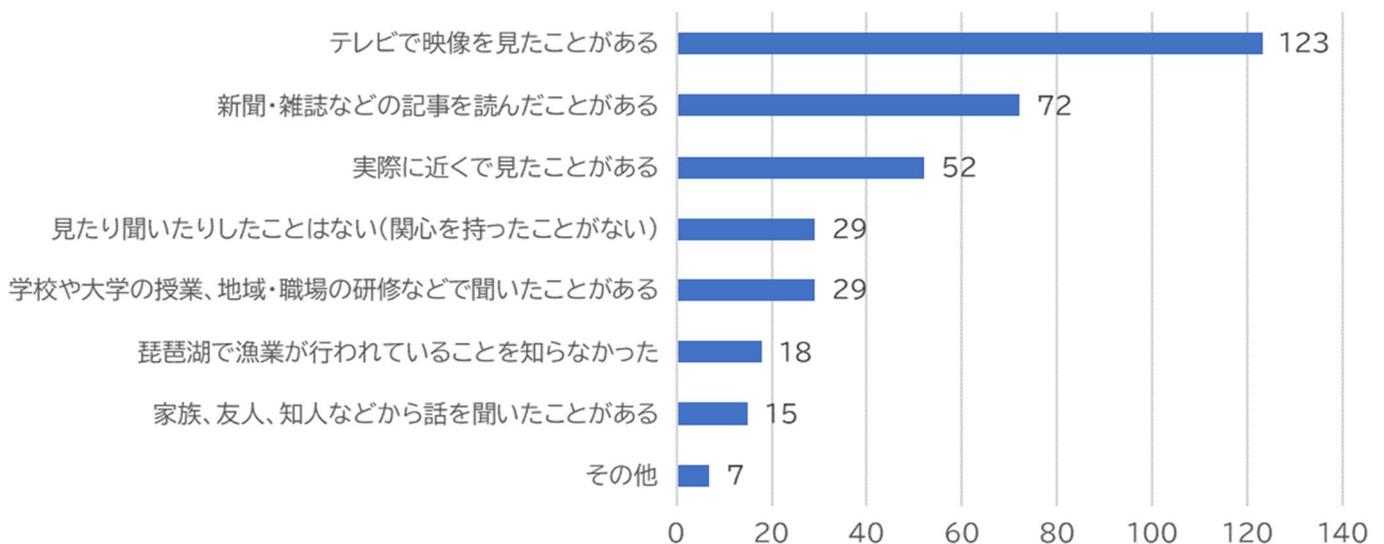
魚のゆりかご水田米は、SDGs(持続可能な開発目標)の目標 15(陸の豊かさを守ろう)の取組にあてはまります。環境との調和を図り、農家がそのために手間をかけて生産されています。(n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 取組が理解できるので、5割以上高くても購入できる	4	1.7%
2. 取組が理解できるので、3割～4割程度高くても購入できる	24	10.0%
3. 取組が理解できるので、1割～2割程度高くても購入できる	109	45.4%
4. 通常の栽培方法のものと同等の価格でないと購入できない	49	20.4%
5. 分からない	50	20.8%
6. その他	4	1.7%
合計	240	100%



問 12 琵琶湖漁業を見聞きしたことがありますか。(「見たり聞いたりしたことはない(関心を持ったことがない)」「琵琶湖で漁業が行われていることを知らなかった」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
テレビで映像を見たことがある	123	51.3%
新聞・雑誌などの記事を読んだことがある	72	30.0%
実際に近くで見たことがある	52	21.7%
見たり聞いたりしたことはない(関心を持ったことがない)	29	12.1%
学校や大学の授業、地域・職場の研修などで聞いたことがある	29	12.1%
琵琶湖で漁業が行われていることを知らなかった	18	7.5%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	15	6.3%
その他	7	2.9%

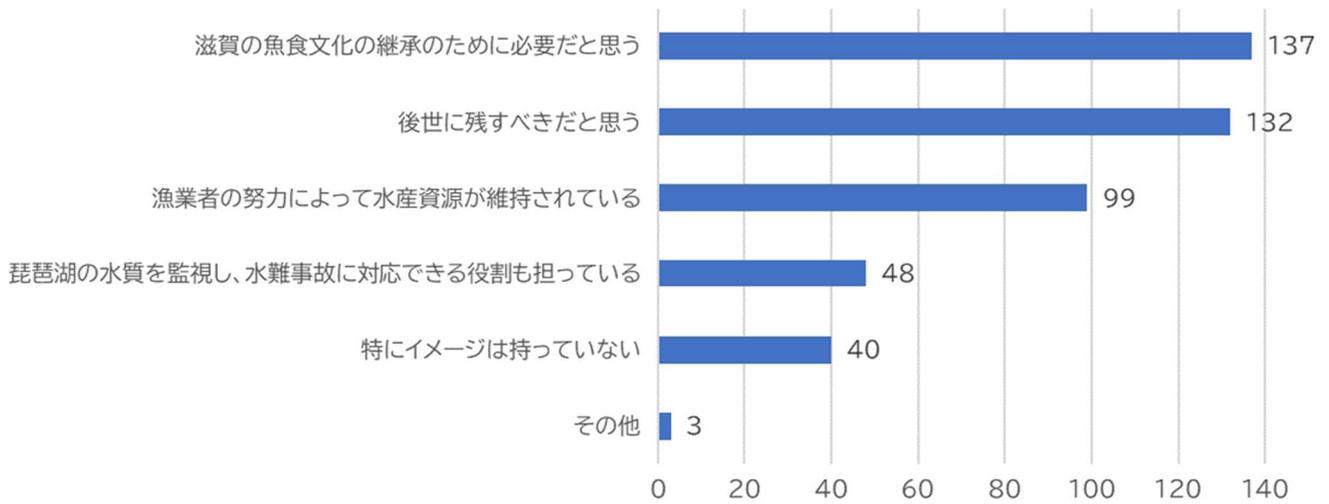


問 13 琵琶湖漁業のイメージはどのようなものですか。

琵琶湖漁業は、豊かな生態系の中で縄文時代から受け継がれてきています。

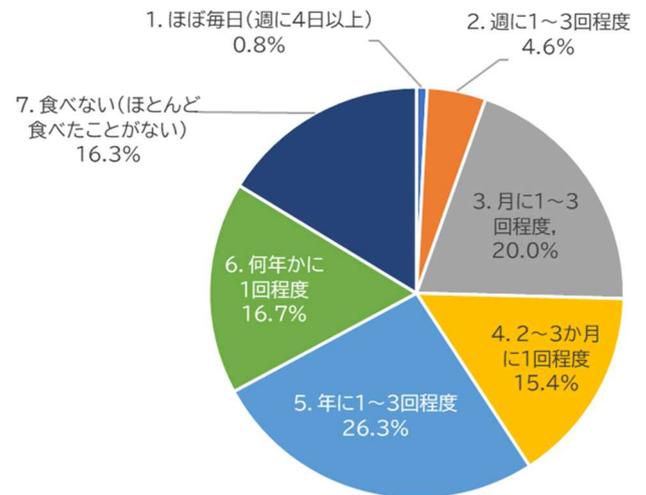
(「特にイメージは持っていない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀の魚食文化の継承のために必要だと思う	137	57.1%
後世に残すべきだと思う	132	55.0%
漁業者の努力によって水産資源が維持されている	99	41.3%
琵琶湖の水質を監視し、水難事故に対応できる役割も担っている	48	20.0%
特にイメージは持っていない	40	16.7%
その他	3	1.3%



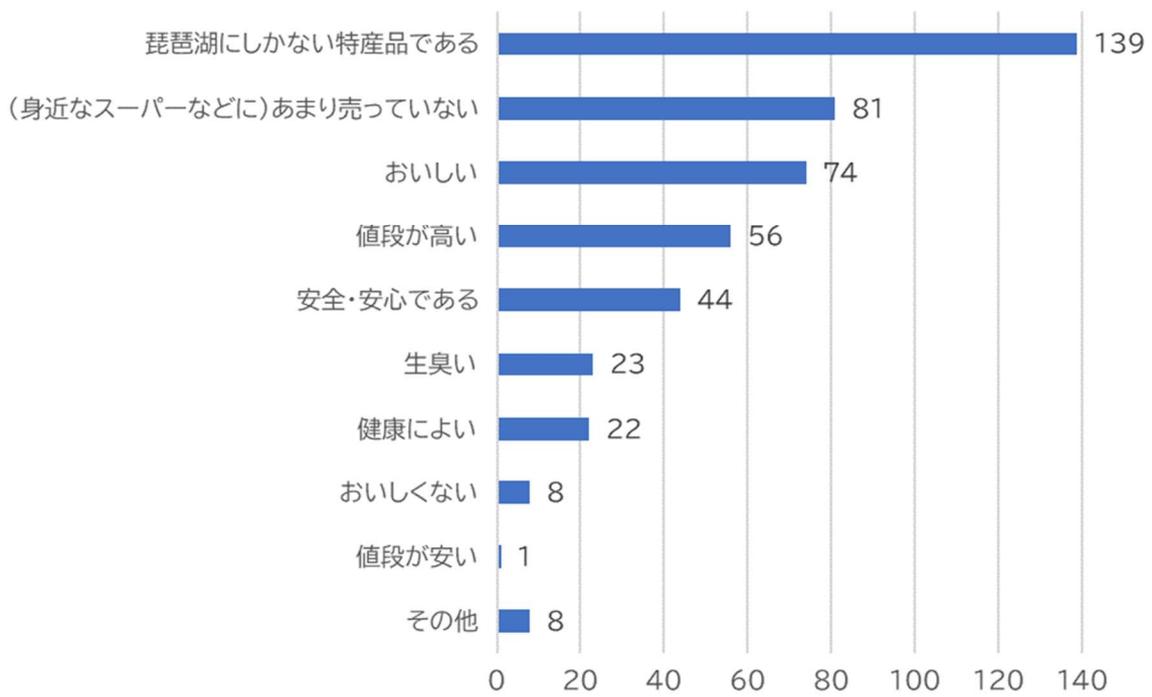
問 14 どれくらいの頻度で琵琶湖の水産物を食べますか。
「琵琶湖の水産物」は魚や貝、エビのことを指します。(n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ほぼ毎日(週に4日以上)	2	0.8%
2. 週に1~3回程度	11	4.6%
3. 月に1~3回程度	48	20.0%
4. 2~3か月に1回程度	37	15.4%
5. 年に1~3回程度	63	26.3%
6. 何年かに1回程度	40	16.7%
7. 食べない(ほとんど食べたことがない)	39	16.3%
合計	240	100%



問 15 「琵琶湖の水産物」のイメージはどのようなものですか。(回答チェックは3つまで n=240)

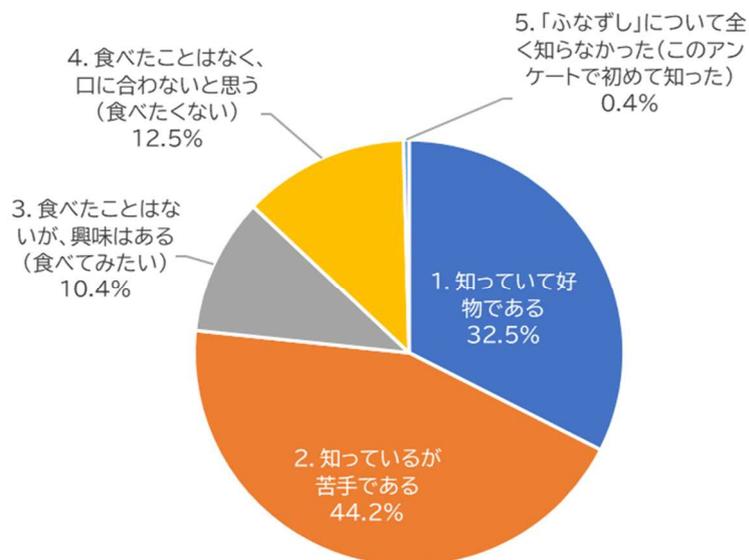
項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖にしかない特産品である	139	57.9%
(身近なスーパーなどに)あまり売っていない	81	33.8%
おいしい	74	30.8%
値段が高い	56	23.3%
安全・安心である	44	18.3%
生臭い	23	9.6%
健康によい	22	9.2%
おいしくない	8	3.3%
値段が安い	1	0.4%
その他	8	3.3%



問 16 滋賀県の伝統食「ふなずし」を知っていますか。

「ふなずし」は、千年以上の歴史を持ち、保存食として、また贈答品や神社への供え物として用いられています。
(n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていて好物である	78	32.5%
2. 知っているが苦手である	106	44.2%
3. 食べたことはないが、興味はある(食べてみたい)	25	10.4%
4. 食べたことはなく、口に合わないと思う(食べたくない)	30	12.5%
5. 「ふなずし」について全く知らなかった(このアンケートで初めて知った)	1	0.4%
合計	240	100%

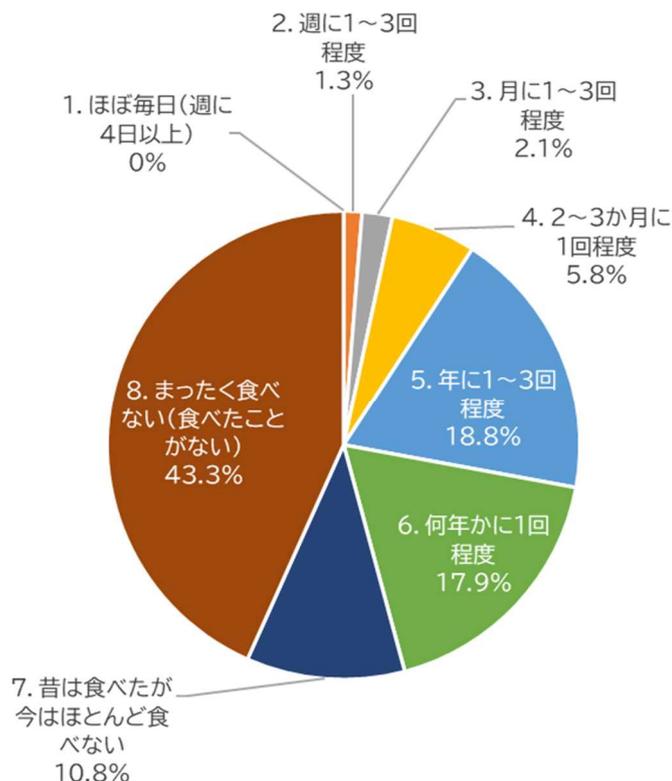


問 17 どのくらいの頻度で「なれずし」を食べますか。

「なれずし」とは、魚を塩と米飯で乳酸発酵させた寿司のことです。

(n=240)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. ほぼ毎日(週に4日以上)	0	0%
2. 週に1~3回程度	3	1.3%
3. 月に1~3回程度	5	2.1%
4. 2~3か月に1回程度	14	5.8%
5. 年に1~3回程度	45	18.8%
6. 何年かに1回程度	43	17.9%
7. 昔は食べたが今はほとんど食べない	26	10.8%
8. まったく食べない(食べたことがない)	104	43.3%
合計	240	100%

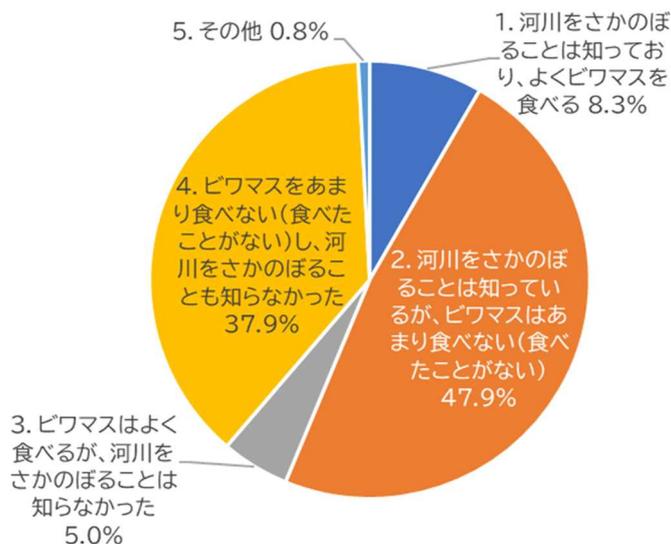


問 18 ビワマスの遡上について知っていますか。

琵琶湖で漁獲されるビワマスは、産卵のために河川を数十kmもさかのぼります(遡上)。近年、このビワマスがさかのぼる河川の環境を整える活動が、各地で行われています。

(n=240)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 河川をさかのぼることは知っており、よくビワマスを食べる	20	8.3%
2. 河川をさかのぼることは知っているが、ビワマスはあまり食べない(食べたことがない)	115	47.9%
3. ビワマスはよく食べるが、河川をさかのぼることは知らなかった	12	5.0%
4. ビワマスをあまり食べない(食べたことがない)し、河川をさかのぼることも知らなかった	91	37.9%
5. その他	2	0.8%
合計	240	100%

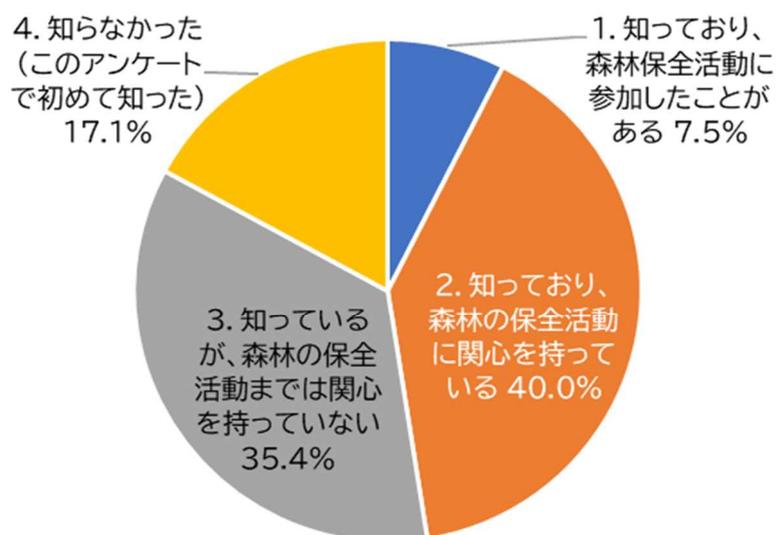


問 19 森林が持つ機能や森林保全活動について知っていますか。

森林には、雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川に送り出すことによって洪水を緩和する水源涵養^{かん}の機能があります。問 18のビワマスなどの生態系保全にもつながっており、こうした機能を発揮するうえで、植林や間伐などの森林を保全する営みが重要な役割を果たしています。

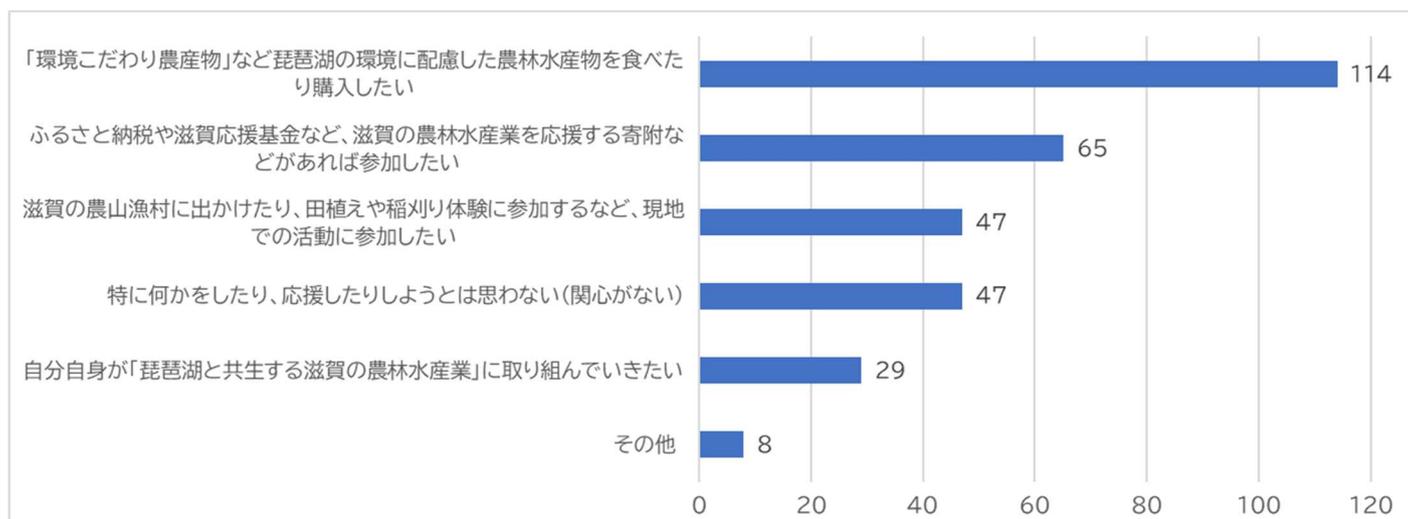
(n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っており、森林保全活動に参加したことがある	18	7.5%
2. 知っており、森林の保全活動に関心を持っている	96	40.0%
3. 知っているが、森林の保全活動までは関心を持っていない	85	35.4%
4. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	41	17.1%
合計	240	100%



問 20 どのように「琵琶湖システム」に関わりたいと思いますか。（「特に何かをしたり、応援したりしようとは思わない(関心がない)」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=240）

項目	人数(人)	割合(%)
「環境こだわり農産物」など琵琶湖の環境に配慮した農林水産物を食べたり購入したい	114	47.5%
ふるさと納税や滋賀応援基金など、滋賀の農林水産業を応援する寄附などがあれば参加したい	65	27.1%
滋賀の農山漁村に出かけたり、田植えや稲刈り体験に参加するなど、現地での活動に参加したい	47	19.6%
特に何かをしたり、応援したりしようとは思わない(関心がない)	47	19.6%
自分自身が「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」に取り組んでいきたい	29	12.1%
その他	8	3.3%



問 21 その他、「琵琶湖システム」についてご意見や応援のメッセージがありましたらお聞かせください。(任意)(一部抜粋)

- 子どもたちが「琵琶湖システム」について楽しく学べるように、楽しい企画があればよいと思います。ふなずしの健康効果について以前新聞に載っていて、それから意識的に食べるようになりました。どこか大学の研究結果だったと思います。またそのように科学的な健康効果を知りたいです。
- 小さい頃に母が湖魚を食べさせてくれたおかげで今の丈夫な身体があります。今は昔に比べて、量が少ないので、高価な食べ物ですが、外来魚の駆除に予算を費やし、昔の琵琶湖を取り戻し、湖魚が安価で食べられるようになればいいと思います。
- ふなずしやビワマス、モロコは、日本酒にあい、とてもおいしいとおもいますし、琵琶湖システムも本当に良い取組ですが、高いお金を出してまでどうだろうかと思います。これらが付加価値を得る為には、琵琶湖システムそのものを観光化したり、他地域との交流の中でお互いにやりとりし、地名度をあげる事が大事と思いますが、県内では「おいしが」はスーパーでのぼりも立っているので知っていても、琵琶湖システムはまだまだ普及していないと思います。まずは、ふるさと納税で手に入れたいくなる様なものとそのストーリーをつくりあげて行く事が大事だと思います。
- 恐らく、「琵琶湖システム」に対する認知度は滋賀県民でも相当低いのではないかと思います。やはり琵琶湖という特有の自然あつてのことだと思いますが、なかなかこれを理解して、拡散しようという考えには至らないと思います。先人達が営々として伝えてきた、この素晴らしい仕組みを後々の未来へ継承していくことは、大変重要なことですが、一般的には伝わりにくく理解しがたいです。もう少し伝え方を工夫するなり、例えばNHKや民放のメディアで取り上げさせるなど、積極的なアプローチが必要かなと思います。やはり全国的にも注目されることは、承継する人にとっても大事なことだと思います。来年の国体や関西万博も良い機会ですし、せっかく今知事が関西広域連合長を務めておられるので、PRに努めていただくことは大事かと思っています。
- 自慢できる滋賀県であってほしいと思っております。滋賀県民となって42年。その良さは琵琶湖にあるといっても過言ではありません。琵琶湖を目指す河川の数とその流れ。周辺の山々と田園風景。そのうえに歴史上の遺跡に寺院と周辺の町や村の調和のとれた姿。また食文化の豊富さです。滋賀県というのは住んでみて初めてその良さを魅せてくれます。今はその滋賀県にどっぷりとつかり満喫している生活です。
- 小学校などでも授業の中でずいぶん紹介されるようになったと思いました。
- 長い伝統のある事が今もなお残っており、活動されている事に敬意を表します。漁業の工夫や技術の伝承のみならず、ビワマス遡上の為に水路のメンテナンスが継続して行われているなど、知らなかったことが今回多くあった。いずれも伝統のある技術や事柄であり、是非とも琵琶湖の為に活動を継続されることを応援したいと思います。かかる手間や技術を駆使するが為に、コスト面に跳ね返ってくるのは致し方ないかとは思いますが、ちょっと高いけど買ってみようか、と手が出る価格が提示できますようお願い致したいと感じるところです。もう一つ「琵琶湖システム」という言葉でその内容が浮かんでくるかといえば、ちょっと難しいかなと感じます。SDGsが「持続可能な開発目標」と訳されるように琵琶湖システム=〇〇〇〇〇。というものができないだろうか。
- はるか昔から現在まで人々の知恵や努力で琵琶湖システムが確立されてきたことは県民にとって誇れることだと思う。琵琶湖システムを継続発展させていくために、微力ながら食べて応援し、清掃活動などに取り組んでいこうと思う。